

餅校長へ新聞部が直接インタビュー!!!

取材:佐藤甘味 狼月兎紀/編集:佐藤甘味 狼月兎紀 わんと

2月14日、我々取材班が餅校長先生に最近の学校の様子についてインタビューを行った。取材の内容は、学校の生徒についてどう考えているか、生徒会長を次期校長にする気があるのかの二点と、取材中に新聞部の部長であるさいえんす氏の頭上に雷が降ったことに対する、校長は祈ることで雷を降らすことができる能力があるのかである。

以下は校長先生の回答である。

一点目について、「とにかく元気が良すぎる生徒が多い。先生の話が通じない子もいるし手間もかかってしまうが、やはり元気が一番だと感じる。しかし、入学早々文化祭を実行しているせいか、本校の偏差値が減少傾向にあることが心配だ。」と不安を隠せない様子を露わにしていた。

二点目について、「青いね。」と断言すると、言葉を続け「もう少し大人になつたら考えてやらんこともない。」とし、校長の座は現状変わるものと見えない模様が伺える。

また、孫である生徒会長とは別に餅校長の息子に継がせる気はあるのかという質問に対して、「何かよく分からぬことばかりしており、機械に疎いワシには理解ができない。」

一連の主張を終えた後、校長は「ワシは機械音痴では決してない」と我々の疑念を一蹴した。

三点目について、「持っている。」と断言した。それに対し我々取材班が「雨降らせる子のようですね」と言うと「ちがくないか?晴らせる方だった気がするが」と年不相応なキレのあるツッコミが炸裂していた。その後、さんえんす氏に雷を降らせたのかという質問に対しては「アソブはワシのことを豚扱いしたから、祈ったら降った。」と自信満々に述べていた。

続けて、「ほかに被害があったとしてもワシは知らん。」とも述べていた。

以下は我々が実際に取材を行っていた時の様子である。

